

= 希望 =

台風12号が関東から近畿、中国、九州へと見たこともないコースで北上ならぬ南進をしていた7月28日、愛知県にある加盟組合の結成30周年記念行事に出席してきた。その日の夜に関東付近への上陸が危惧されたことから、祝辞を述べ、鏡割りを終え退席させていただき、新幹線に飛び乗り一路東京へと向かったが新幹線の中は夏休みということもあってか、子供連れの家族の多いこと。

斜め後ろの席から、幼子の「あ・ん・ぱ・ん・ま〜ん」なる絶叫にも似た声が聞こえ、母親だろう「静かにつ・・・」。何度も注意されていたが、思い起こせば、30歳を過ぎたわが息子たちも小さいころ夢中であった。

アンパンマンは、1988年に「それいけ！アンパンマン」としてテレビ放映が始まったというから、今年が丁度30周年。その生みの親は、漫画家の“やなせたかし氏”である。皆さんも歌ったことがあるだろう、「手のひらを太陽に」の作詞者でもある。

アンパンマンは、正義と、勇気と、愛をテーマに小さな子供たちに絶大な人気があるが、アンパンマンマーチといわれるテーマソング、実は大人へのメッセージも込められているという。ちなみに、「アンパンマンマーチ」の歌詞は、

そうだ！嬉しいんだ生きる喜び たとえ胸の傷が痛んでも 何の為に生まれて 何をして生きるのか 答えられないなんて そんなのは嫌だ！ 今を生きることで 熱いところ燃える だから君は行くんだ微笑んで。そうだ！嬉しいんだ生きる喜び たとえ胸の傷が痛んでも。 嗚呼アンパンマン優しい君は 行け！皆の夢守る為
何が君の幸せ 何をして喜ぶ 解らないまま終わる そんなのは嫌だ！ 忘れないで夢を 零（こぼ）さないで涙 だから君は飛ぶんだ何処までも そうだ！恐れないでみんなの為に 愛と勇気だけが友達さ 嗚呼アンパンマン優しい君は 行け！皆の夢守る為 時は早く過ぎる 光る星は消える だから君は行くんだ微笑んで そうだ！嬉しいんだ生きる喜び たとえどんな敵が相手でも 嗚呼アンパンマン優しい君は 行け！皆の夢守る為

さて、みなさんは、どう受け止め、何を感ただろう。決して、私自身が猛暑続きの中で頭をやられたわけではない。多発する地震、気候変動による自然の猛威、台風・豪雨など、まさかと思われていたものが、当たり前のようにいつどこで発生するかわからない。その時、私たちに何ができるのか。震災からの復旧・復興、そして今、懸命に豪雨の爪痕に立ち向かい、復旧に向けて汗を流している被災地の皆さん、それを応援している多くの仲間の姿がある。愛と勇気と実行力は、きざに言えば労働運動の大切にしている絆そのもの、組合員とその家族の幸せ追求は、みんなの生きる喜びのため…。夏休みなどと言ったらお叱りを受けるだろうが、お盆の束の間でも口ずさんでみたらいかがだろうか。希望と勇気がわいてくるかもしれない。

7月19日に開催した加盟組合代表者会議の座長としての締めの挨拶で紹介した詩、「絶望のとなりに誰かがそっと腰かけた。絶望はとなりの人に聞いた。『あなたはいったい誰ですか？』となりの人は微笑んだ。『私の名前は希望です』」は、前出のやなせたかし氏が残したもの。みんなで寄り添ってこそ希望は生まれる。

ご安全に

2018年8月1日
日本基幹産業労働組合連合会
中央執行委員長 神田 健一